学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 保健体育科

科目名 ：	体育ｂ	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 10 回
使用教科書 ：高等学校 改訂版 保健体育 （第一学習社）			
学習書 ・副読本 ：：最新スポーツルール２０２０ （大修館書店）			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	4 枚	2 枚	1 枚	1 枚
スクーリング [S]	20 回	7 回	7 回	6 回
テスト [T]	筆記試験なし	各範囲のスクーリング内で実技試験を実施		
その他 （課題・実習等）	各範囲で実技試験を行う			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・レポートは、必ず合格すること。
・各範囲のスクーリングで実技テストを行います。
・スクーリングには遅れずに出席すること。
・運動できる服装で受講すること。綿パン等の着用では、スクーリングに出席できません。
・活動場所に応じてインドア用、アウトドア用のシューズを必ず持ってくること。
・補講は行いません。スクーリング出席回数をしっかりと把握しておくこと。

2 学習の到達目標

・実技を通して、集団で運動する楽しさや体を動かすことの喜びを感じる。
・自分自身の健康や体力の状態を意識し、安全に楽しく運動するために協力する姿勢を身につける。
・レポート学習を通して、スポーツのルールや体力を高める方法について理解する。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断	c ：運動の技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全に留意しながら学習に主体的に取り組もうとする。 人と協力しながら運動を楽しむ姿勢を身につける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 仲間と運動を楽しむためにどうすればよいかを考え、工夫する。	記録や技能向上に挑戦する。 仲間と連携･協力して各種目を楽しむ。	運動技術や体力を向上させるための方法を理解し、自分に合った方法を考える。 運動やスポーツをする際に注意すべき点を知り、安全に運動をおこなうための方法を理解する。
評価方法	・観察，出席状況（スクーリング） ・記述の点検（レポート）	・観察（スクーリング） ・記述の点検（レポート）	・観察，出席状況（スクーリング） ・実技テスト	・観察（スクーリング） ・記述の点検（レポート）

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学 習 内 容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1範囲	ネット型球技 テニス	テニス	○	○	○	○	a:自ら進んで人と協力し、運動を楽しむことができている。 b:仲間と運動を楽しむためにどうすればよいかを考え、工夫している。 c:ゲームの中で、練習で学んだ技能を活かし、相手コートにボールを打ち返し、仲間と楽しむことができる。 d:レポート作成を通して、技術や技の行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	・スクーリング ・レポート ・実技テスト
2範囲	ゴール型球技 アルティメット	アルティメット (フライングディスク競技)	○	○	○	○	a:自ら進んで人と協力し、運動を楽しむことができている。 b:仲間と運動を楽しむためにどうすればよいかを考え、工夫している。 c:フライングディスクの扱いに習熟し、パスやキャッチの正確さ、すばやさなどを高める。練習で学んだ技能を活かし、ゲームを仲間と楽しむことができる。 d:レポート作成を通して、技術や技の行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	・スクーリング ・レポート ・実技テスト
3範囲	ネット型球技 卓球	卓球	○	○	○	○	a:自ら進んで人と協力し、運動を楽しむことができている。 b:仲間と運動を楽しむためにどうすればよいかを考え、工夫している。 c:ゲームの中で、練習で学んだ技能を活かし、仲間と楽しもうとしている。 d:レポート作成を通して、技術や技の行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	・スクーリング ・レポート ・実技テスト

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断
　　c：運動の技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。